

# 大野っ子だより

～ 笑顔・元気・チームワークそして感謝～

海南市立大野小学校

第11号 令和2年1月24日

## 2020年がスタートしました！



2020年は、子（ね）年です。ねずみは、ねずみ算という言葉の通り、子どもをたくさん産むことから繁栄の象徴とされ、子年は景気がよくなると言われていました。また、今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、明るい話題も多くなると期待されます。始業式では、今年大野っ子に期待することを、ねずみの鳴き声「CHUU CHUU」にかけて、3つのCH「CHANCE、CHALLENGE、CHANGE」として話をしました。低学年には少し難しいお話になったと思いますが、成長するチャンスを逃さず、失敗をおそれずチャレンジして、今の自分に満足せず変化していこう、という思いを話しました。

保護者の皆様には、今年も本校の教育活動にご理解・ご協力の程よろしくお願ひいたします。

### -令和元年度和歌山県学習到達度調査の結果より-

10月16日に和歌山県内の4・5年生を対象に実施された、和歌山県学習到達度調査の結果をお知らせします。総評としましては、両学年ともこれまでの学習内容をよく理解できていると言えます。また、無回答率が小さいことから、あきらめずに問題を解く姿勢も身につけています。課題としましては、5年生は言語に関する問題、4年生は数学的な考え方に関する問題があげられます。

#### 【5年生】（数値は全て平均の正答率：%）

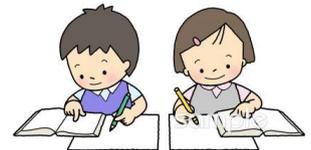
調査年度	令和元年度			平成30年度 (4年時)
教科	国語基礎	国語活用	国語	国語
大野小				
和歌山	55.8	29.8	51.9	52.7
比較				
教科	算数基礎	算数活用	算数	算数
大野小				
和歌山	57.7	39.9	54.2	64.6
比較				
教科	理科基礎	理科活用	理科	
大野小				
和歌山	60.7	63.5	61.3	
比較				

5年生は、国語・算数・理科いずれも県平均を超えています。

特に算数は、基礎・活用問題ともに10%以上県平均を上回っており、4年時と比較しても明らかな伸びが感じられます。

国語も10%以上県平均を上回っていますが、漢字の書き取りや接続語等、言語に関する問題の正答率が低いです。読書の推進にもっと取り組んでいきたいです。

理科は、基礎・活用問題ともに15%以上県平均を上回っており、学習内容がしっかり身につけています。



#### 【4年生】（数値は全て平均の正答率：%）

調査年度	令和元年度			
教科	国語基礎	国語活用	国語	
大野小				
和歌山	57.4	28.6	53.0	
比較				
教科	算数基礎	算数活用	算数	
大野小				
和歌山	54.7	35.7	50.9	
比較				

4年生も、国語・算数ともに県平均を超えました。

国語では基礎・活用問題ともに10%以上県平均を上回ったものの、算数では、「商と余り」の問題の正答率が、唯一県平均を下回りました。理由や自分の考えを書くなど、記述式問題・活用問題で少し課題が見られました。授業の中でも、正解かどうかだけでなく、自分の考えや解き方をしっかりもち、書き表す活動をより多く取り入れることで、課題の克服を図りたいと思います。